

令和4年度 サービス評価

小規模多機能型居宅介護事業



NPO 法人 宅老所 心

小規模多機能型居宅介護事業所 心

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)
------------------	-----	--------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田
--------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	3 人	人	15 人

前回の改善計画	家族との関係強化のために、日頃から利用者個人のケース記録にどんなことを話したか、どんなことを通いサービスで行ったかなどを細かく書き留めスタッフ間で共有し、送迎の時や家族から聞かれた際には、伝えられるようにしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	細かく書き留めることはできていないが、概ね家族から聞き取ったことなどはスタッフ間で共有できている。また、連絡帳等を通じて事業所での内容や様子は伝達している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10	2		15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	2		15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11	1		15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	3		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
フェースシート・ケース記録・看護記録・業務日誌 (PC 内)・連絡事項 (PC 内)、朝礼・夕礼で情報共有している。また、利用者や家族に対して、声掛け・気遣い・配慮など、特に利用開始から 1 か月程度は全スタッフが意識して行っている。送迎の際など、積極的に声掛けを行い、要望については、都度、素早く対応するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
初回利用の方のスタッフへの情報伝達が総体的に遅く、特に関わり方や過ごし方についての情報が希薄であり、個人差もあるが情報の把握が不十分などときがある。また、穏やかな利用者の記録が少ない傾向がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用の方の関わり方や過ごし方などの情報収集に努め、スタッフへの周知を早めに行う。また、意識的に本人や家族への働きかけを心がけ、そこで得た情報を共有するように努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	5 人	人	15 人

前回の改善計画	利用者の「～したい」や「目標」を考える時間をとり、且つ共有するために月に1度のスタッフ会議の中でカンファレンスの時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスの時間は設けられていないが、担当者を定め6か月に1回ケース会議を行うことにした。また、居宅療養管理指導事業者や福祉用具事業者等とカンファレンスを6か月に1度実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		9	6		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	4		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	8		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	11	2	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケース会議を開催し、担当職員が中心となり利用者の「～したい」等について話し合い日々の関わりで実施できるよう取り組んでおり、そのことをスタッフで共有、記録に残すようにしている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ケース会議の内容共有に時間がかかり、ケアの統一が不十分なときがある。また、訴えがなければそのまま見過ごされてしまっているときがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者の要望に素早く対応できるようにし、その内容を職員間で共有し、ケアの統一を図るようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	12 人	2 人	人	15 人

前回の改善計画	利用者の日常生活動作 (ADL) の把握が曖昧な部分があり介助し過ぎていることがあるので、1 日の振り返りの際やスタッフ会議で話し合い情報の統一を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	概ねできており、ケース会議を中心に再検討し、自立支援の観点から過剰介護に陥らないよう日々の話し合いに反映させている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	7	5	2	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9	2		15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	6	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	11	1		15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
表情やバイタル、行動を観察し、何か変化があればスタッフ間で確認、ミーティング等で相談して対応している。また、気づいたことについては言葉にして共有しており、共有した情報で支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方 (生活背景や環境) を十分把握できておらず (利用開始後のインタビューをしていない)、また、主張が乏しい人のかかわりが希薄になっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
情報共有が遅く、問題が起きてからしか対処できないことがあったり、介助し過ぎてしまっていることがあるため、共有スピードを上げるとともに、利用開始一定期間後のインタビューを行い職員に周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	8 人	2 人	15 人

前回の改善計画	内部研修や月に 1 度のスタッフ会議で定期的に利用者のカンファレンスの機会を設け、地域資源の活用について意識的に学ぶ時間を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の活用について学ぶ時間がほとんど持てておらず、ケース会議にて各利用者のエコマップをもとに本人を取り巻く状況をリサーチし、必要な方について社会資源の開発を試みることにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	4	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	7	4		15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	7	6		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	2	10		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域で利用者自身が築かれた良い関係を維持できるようサポートし、地域生活 (在宅生活) が継続できるよう家族と関わり支援している。また、訪問時や送迎時に地域の方と関わる機会があり、途切れないよう気を配っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 社会資源として、近隣の方に見守り協力いただきたいが家族からの「待った」で、ストップしている事例がある。また、利用者によっては地域の方との付き合いを望んでおられない方もいるため、民生委員にもつなぐことができないでいる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 独居の方について、本人を交えて民生委員に協力していただけないか打診してみる。(地域資源の開発を試みる。)
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	9人	2人	15人

前回の改善計画	スタッフ会議や事業所内研修で、利用者の住む地域の自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として利用可能なものにとらえ、人的・人文的な資源とは何かを学ぶ機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の異動や退職もあり、ほとんどできていないため、まずスタッフ会議内で「社会資源とは何か」の学習機会を持ち、ケース会議にて各利用者のエコマップをもとに本人を取り巻く状況をリサーチすることから始めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	6	5	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	7	1		15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	2		15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人や家族のニーズを把握しながらサービス提供し、利用時間等を変更する等、少しでも生活に沿うよう努めている。また、他事業所(居宅療養管理指導等)や後見人等と連携し、その人を支えるよう努めている。通い、泊まり、訪問を活用し、本人や家族の状況に合わせて柔軟に対応している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること インフォーマルな地域資源が把握開発できておらず、事業所や関係機関のみでの支援となっていることもある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 介護保険サービス以外の社会資源を多機能で柔軟な現在の支援に組み込むことを目標として順次進めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	7人	2人	15人

前回の改善計画	コロナ禍ではあるが、感染対策を図りながら地域の方々等が、事業所に来ていただく機会を模索していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	継続してコロナ感染対策を実施しており、難しい状況が続いている。外遊びができる季節では、職員の子供と近隣の子供が事業所の屋外で遊ぶ姿がよく見られた。また、年末の餅つきは屋外でするため近隣の方々ボランティアで来てくださり交流する予定である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	4	3	7	1	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	7	5	1	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	2	8	3	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6	2	3	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>コロナの感染状況を見ながら、本部茅葺ランチに事業所から職員と利用者が参加している。同様に感染状況をみながら、地域連絡会や関係機関との会議(WEB含む)に参加している。福祉用具、訪問看護、訪問歯科、訪問診療等、各利用者に導入している機関と連携し支援している。広報を通して、古着や毛糸、布等を地域の方々より頂き、シュシュやコースターあずま袋などを製作し販売してもらっている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍のため、地域行事への参加、地域交流行事を行っていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>感染状況を鑑みて、予防対策をしつつ地域行事に参加したり、地域の方を招いて事業所行事を企画していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	5人	4人	15人

前回の改善計画	新型コロナウイルスの感染状況を見極めながらになるが、地域の方々を招く行事を実施したい、また、スタッフが地域に出向いて交流を深める機会を持ちたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍で、一定努力はしている(本部茅葺ランチへの参加等)ものの、地域行事がほとんどなく、また、時折陽性者や濃厚接触者が職員や職員家族、利用者に出たため、思うようにできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	7	4	1	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	1		15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	1		15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	5	4	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 思ったことや感じたことを発言し、他のスタッフと共に考えられるが、気を遣っていることもある。また、利用者・家族等には送迎時や連絡帳、苦情受付箱設置により意見や苦情を聞き運営に反映している。地域の方々の理解が深く事業所で様々な取り組みができている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 送迎時等なるべく伝えるようにしているが、共有レスがありタイムリーに利用者の様子を家族に伝えきれていない。 職員同士が遠慮しあっている一面がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 心理的安全性の確保に努め、忌憚のない意見をスタッフ間で言い合える関係性を構築する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	5 人	人	1 人	15 人

前回の改善計画	今年度と同様に来年度も内部研修を継続的に実施し、学べる機会を一つでも多く提供していくとともに、学びたいテーマをスタッフから聞き取り反映させていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和 3 年度改正で義務化されたものを中心に、月に 1 度の内部研修を実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	7	1	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	7	4	1	3	15
③	地域連絡会に参加していますか	2	8	1	4	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	9		1	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 月 1 回の内部研修、スキルアップのための外部研修等、積極的に参加しており、ケアマネは地域連絡会の研修に参加している。また、ヒヤリハットや事故報告に目を向け、再発防止に取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 家庭事情等もあり、全員が外部研修に参加できていない。
 リスクに対する意識に個人差がありケアの統一には至っていない。(椅子や物が置きっぱなしになっていたり使用した物がそのまま放置されていたり等)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 リスクに対する意識を標準化し、チームケアとして取り組めるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 11 月 25 日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 森本・春田・井上・西川・上村・木下・鶴房・齋藤・河本・木村・濱田優・濱田り・山田・畑井・松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	4人	人	15人

前回の改善計画	排泄や入浴へお誘いするときは、耳元で声をかけるか、他のご利用者から離れた場所で小声で伝えるよう改善する。
前回の改善計画に対する取組み結果	十分改善できていない。継続して取り組む方向である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	14	1			15
②	虐待は行われていない	15				15
③	プライバシーが守られている	4	9	2		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	3		1	15
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	10	1		15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
組織風土として職業倫理意識が高く、身体拘束や虐待、不適切なケア等、常に職員同士意識している。
排泄や入浴の誘導は、耳元で回りの利用者を意識して伝えるようにしているが十分ではない。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所が狭く、利用者の個人情報を他の利用者の前で話してしまっていることがある。また、ケース記録がデスクに置きっぱなしになっていることがある(利用者と呼ばれ、席を立ちしばらく戻ってこれないことがあるため)。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
排泄や入浴へお誘いするときは、耳元で声をかけることを周知徹底する。個人情報については、第三者の目に触れないよう互いに指摘しあうよう心がける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	地域に根差し、子ども食堂やフリースペース、居酒屋やランチを本部茅葺で行い、老若男女が気軽に出入りできる空間となっている。 通い・泊り・訪問を組み合わせ、顔なじみのスタッフが連携しながら変更等にも対応し、自宅での生活が継続できるようサポートしている。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所心	管理者	森本 信吾		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	4人	人	人	1人	1人	人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・ 結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	自己評価表の改善計画が意識できるよう定期的にスタッフ会議で、見直したり話し合う。	スタッフ会議での話し合いはできていないものの、事業所の課題として位置付けているため改善方向で取り組めた。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	自己評価表の改善計画について、スタッフ会議で話し合い、来年度計画に反映するようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	公民館の鍵の保管は継続する。AEDの設置も継続し、地域の方々に事業所のことや取り組みを知っていただくためスタッフから発信していく。	鍵を取りに来られた近隣の方々とは話す機会を持っており、AEDの設置も継続(使用実績なし)中、コロナ禍のためスタッフからの発信はまちづくりセンターのみ。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	コロナ補助金を用いて、クラスターが発生した場合の対策を講じ、一部陽性者(疑陽性者)にも対応できるようにする。
C. 事業所と地域の かかわり	地域に根差した事業所になるべくスタッフからどんどん地域の活動へ積極的に参加していく。地域資源の活用にも目を向けていく。	地域への広報誌の配布、まちづくりセンターへの発信、コロナ禍のため地域行事への参加や事業所行事への地域からの参加は年末の餅つき(Vo)のみ。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	感染予防対策を講じながら少人数での地域行事への参加を試みていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	新型コロナウイルスの感染状況を見ながらであるが、地域の催しに参加したり交流の場を持てるように支援する。	コロナ禍のため地域の催しに参加できずにいた。また、地域資源の開発も停滞している。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	独居の方について、本人を交えて民生委員に協力していただけないか打診してみる。(地域資源の開発を試みる。)
E. 運営推進会議を 活かした取組み	事業所スタッフが運営推進会議に参加できるよう進める。また、運営推進会議で投げかけられた課題に取り組み、結果報告も行う。	コロナ禍のため運営推進会議が開催できず、事業所活動の送付のみで終わっている。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	感染予防対策を講じながら、運営推進会議の再開を検討し、順次スタッフの参加も進める。
F. 事業所の 防災・災害対策	地域の防災担当の方と「もしもの時」の情報交換を行う。	義務付けられた年2回の避難訓練のみ実施。地域の方との情報交換もコロナ禍のため行えずにいる。	新型コロナウイルス感染予防対策のため、運営推進会議を開催しておらず、意見が聞けていない。	感染及び災害のBCPを作成し、訓練を企画検討する。